

II 業種別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き（表3、表4）

1. 鉄鋼業

3年の県内鉄鋼業の生産指数は106.5で、対前年比△4.1%と減少した。これは黒心可鍛鉄等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期102.3（対前期比9.0%減）、4～6月期106.0（同3.6%増）、7～9月期は111.7（同5.5%増）、10～12月期は106.2（同4.9%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は97.7で、対前年比△13.0%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は96.0（対前期比6.8%減）、4～6月期は95.4（同0.7%減）と2期連続減少し、7～9月期95.4（同増減なし）、10～12月期104.1（同9.1%増）と増加した。

2. 非鉄金属工業

3年の県内非鉄金属工業の生産指数は135.4で、対前年比4.5%と9年連続して増加した。これは、シリコン等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期135.9（対前期比3.2%増）、4～6月期141.2（同3.9%増）、7～9月期137.7（同2.5%減）、10～12月期127.1（同7.7%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は94.7で、対前年比7.9%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期78.9（対前期比2.8%減）、4～6月期86.4（同9.5%増）、7～9月期は111.6（同29.1%増）、10～12月期は103.6（同7.1%減）と増減を繰り返した。

3. 金属製品工業

3年の県内金属製品工業の生産指数は95.7で、対前年比△8.5%と減少した。これは、アルミニウムドア等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期95.5（対前期比3.4%減）、4～6月期97.3（同1.8%増）、7～9月期96.6（同0.6%減）、10～12月期は93.8（同3.0%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は95.9で、対前年比△3.2%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期88.2（対前期比16.2%減）と減少し、4～6月期91.3（同3.5%増）、7～9月期98.1（同7.5%増）、10～12月期108.1（同10.2%増）と3期連続して増加した。

4. 機械工業

3年の県内機械工業の生産指数は、111.4で対前年比△2.5%と減少した。また、在庫指数は、一般機械工業、電気機械工業が減少したため、前年比△17.1%と減少し、指数は101.0となった。

4-1 一般機械工業

3年の県内一般機械工業の生産指数は128.3で、対前年比△3.1%減少した。これは、変速機等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期120.7（対前期比2.8%減）、4～6月期140.3（同16.3%増）、7～9月期132.2（同5.8%減）、10～12月期は119.6（同9.5%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は127.0で、対前年比△17.3%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期143.9（対前期比7.9%減）、4～6月期131.5（同8.7%減）、7～9月期は114.0（同13.2%減）、と5期連続減少し、10～12月期は115.6（同1.3%増）と増加した。

4-2 電気機械工業

3年の県内電気機械工業の生産指数は107.5で、対前年比3.6%と増加した。これは、非標準変圧器、スピーカ等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期111.4（対前期比0.8%増）、4～6月期111.7（同0.3%増）と6期連続増加し、7～9月期106.4（同4.8%減）、10～12月期100.5（同5.6%減）と2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は40.2で、対前年比△44.9%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期40.1と（対前期比13.7%減）、4～6月期43.8（同9.2%増）、7～9月期37.8（同13.7%減）、10～12月期39.7（同

5. 0%増)と増減を繰り返した。

4-3 輸送機械工業

3年の県内輸送機械工業の生産指数は107.0で、対前年比△5.5%と減少した。四半期別に推移をみると、1~3月期110.7(対前期比3.2%減)、4~6月期106.2(同4.0%減)、7~9月期111.0(同4.5%増)、10~12月期102.2(同8.0%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は161.7で、対前年比6.9%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期139.4(対前期比27.0%減)、4~6月期119.4(同14.3%減)と2期連続減少し、7~9月期159.7(同33.8%増)、10~12月期226.2(同41.7%増)と2期連続増加した。

5. 窯業・土石製品工業

3年の県内窯業・土石製品工業の生産指数は103.8で、対前年比△2.1%と減少した。これは、みがき板ガラス等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期107.4(対前期比3.1%増)と増加し、4~6月期106.4(同0.9%減)、7~9月期100.9(同5.2%減)、10~12月期100.6(同0.3%減)と3期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は123.7で、対前年比10.0%と3年連続増加した。これを四半期別にみると1~3月期124.4(対前期比2.7%増)、4~6月期124.3(同0.1%減)、7~9月期126.1(同1.4%増)、10~12月期120.1(同4.8%減)と増減を繰り返した。

6. 化学工業

3年の県内化学工業の生産指数は122.8で、対前年比0.2%と11年連続して増加した。これは、ポリプロピレン、合成オクタノール等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期122.5(対前期比1.8%減)、4~6月期129.1(同5.5%増)、7~9月期120.8(同6.5%減)、10~12月期119.5(同1.1%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は127.6で、対前年比18.2%と3年連続増加した。これを四半期別にみると、1~3月期117.0(対前期比5.5%増)、4~6月期130.9(同12.0%増)、7~9月期133.0(同1.6%増)と5期連続増加し、10~12月期131.3(同1.3%減)と減少した。

7. 石油・石炭製品工業

3年の県内石油・石炭製品工業の生産指数は111.8で、対前年比1.4%と4年連続して増加した。これは、軽油等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期107.9(対前期比11.1%減)、4~6月期105.2(同2.5%減)と2期連続減少し、7~9月期108.6(同3.3%増)、10~12月期127.0(同16.9%増)と2期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は112.5で、対前年比△4.6%と減少した。これを四半期別にみると、1~3月期129.2(対前期比5.6%減)、4~6月期111.0(同14.1%減)、7~9月期98.4(同11.3%減)と3期連続減少し、10~12月期116.5(同18.4%増)と増加した。

8. プラスチック製品工業

3年の県内プラスチック製品工業の生産指数は107.3で、対前年比△3.6%と減少した。四半期別に推移をみると、1~3月期106.8(対前期比8.0%減)、4~6月期105.8(同0.9%減)、7~9月期109.4(同3.4%増)、10~12月期107.3(同1.9%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は72.8で、対前年比26.9%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期61.7(対前期比8.7%増)、4~6月期72.6(同17.7%増)、7~9月期74.8(同3.0%増)、10~12月期82.5(同10.3%増)と4期連続増加した。

9. パルプ・紙・紙加工品工業

3年の県内パルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は94.4で、対前年比1.6%と増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期98.4（対前期比3.4%減）、4～6月期95.7（同2.7%減）、7～9月期86.5（同9.6%減）、10～12月期97.5（同12.7%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は257.2で、対前年比△7.3%と減少した。これを、四半期別にみると1～3月期270.4（対前期比17.9%増）、4～6月期284.6（同5.3%増）と2期連続増加し、7～9月期263.1（同7.6%減）、10～12月期218.5（同16.9%減）と2期連続減少した。

10. 繊維工業

3年の県内繊維工業の生産指数は97.6で、対前年比△1.4%と4年連続して減少した。四半期別にみると、1～3月期95.4（対前期比5.6%減）、4～6月期96.0（同0.7%増）、7～9月期99.7（同3.9%増）、10～12月期99.4（同0.3%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は98.6で、対前年比1.8%と4年連続して増加した。これを、四半期別にみると1～3月期99.9（対前期比1.6%増）、4～6月期102.2（同2.3%増）、7～9月期95.4（同6.6%減）、10～12月期96.9（同1.5%増）と増減を繰り返した。

11. 食料品工業

3年の県内食料品工業の生産指数は88.8で、対前年比△2.2%と4年連続して減少した。これは、水産練製品、味噌等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期93.4（対前期比5.0%増）と増加し、4～6月期87.9（同5.8%減）、7～9月期86.5（同1.6%減）、10～12月期87.5%（同1.1%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は110.2で、対前年比16.8%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期102.5（対前期比10.2%増）、4～6月期112.8（同10.1%増）、7～9月期116.2（同3.0%増）と4期連続増加し、10月～12月期110.1（同5.2%減）と減少した。

12. その他工業

3年の県内その他工業の生産指数は108.9で、対前年比6.2%と5年連続して増加した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業4.9%、家具工業59.5%、木材・木製品工業△0.2%、その他製品工業△2.3%であった。四半期別に推移をみると、1～3月期105.2（対前期比4.0%増）、4～6月期106.4（同1.1%増）、7～9月期108.4（同1.9%増）、10～12月期115.1（同6.2%増）と4期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は137.6で、対前年比20.4%と増加した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業が8.4%、家具工業160.4%、木材・木製品工業11.1%とそれぞれ増加した。これを四半期別にみると、1～3月期122.6（対前期比3.2%増）、4～6月期147.1（同20.0%増）、7～9月期140.1（同4.8%減）、10～12月期141.0（同0.7%増）と増減を繰り返した。

13. 鉱業

3年の県内鉱業生産指数は125.2で、対前年比△3.2%と減少した。これは、天然けい砂等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期121.9（対前期比7.8%減）、4～6月期128.6（同5.5%増）、7～9月期126.8（同1.4%減）、10～12月期124.1（同2.2%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は91.8で、対前年比5.9%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期96.7（対前期比7.2%増）、4～6月期88.6（同8.4%減）、7～9月期87.5（同1.3%減）、10～12月期は94.7（同8.2%増）と増減を繰り返した。

14. 公益事業 (参考)

3年の県内公益事業の生産指数は329.9で、対前年比6.2%と増加した。これは、電力が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期331.4 (対前期比10.0%減)、4~6月期329.9 (同0.4%減)、7~9月期337.4 (同2.3%増)、10~12月期321.9 (同4.6%減) と増減を繰り返した。

表3 業種別工業生産指数増減率

昭和60年=100

	対前年増減率 (%)				3年四半期別・対前期増減率 (%)			
	63年	元年	2年	3年	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
鋳工業	3.6	6.1	△ 0.1	△ 1.3	△ 1.9	1.3	△ 1.8	△ 1.8
製造工業	3.6	6.1	△ 0.1	△ 1.2	△ 1.9	1.3	△ 1.7	△ 1.9
鉄鋼業	6.7	1.8	2.4	△ 4.1	△ 9.0	3.6	5.5	△ 4.9
非鉄金属工業	4.8	7.8	6.9	4.5	3.2	3.9	△ 2.5	△ 7.7
金属製品工業	11.5	8.9	△ 25.1	△ 8.5	△ 3.4	1.8	△ 0.6	△ 3.0
機械工業	5.8	7.4	0.0	△ 2.5	△ 2.5	1.2	△ 0.6	△ 6.9
一般機械工業	14.4	14.5	△ 3.1	△ 3.1	△ 2.8	16.3	△ 5.8	△ 9.5
電気機械工業	△ 1.7	△ 7.0	8.8	3.6	0.8	0.3	△ 4.8	△ 5.6
輸送機械工業	6.8	12.5	△ 2.8	△ 5.5	△ 3.2	△ 4.0	4.5	△ 8.0
窯業・土石製品工業	1.2	3.4	1.1	△ 2.1	3.1	△ 0.9	△ 5.2	△ 0.3
化学工業	2.6	10.2	3.1	0.2	△ 1.8	5.5	△ 6.5	△ 1.1
石油・石炭製品工業	3.9	1.4	11.3	1.4	△ 11.1	△ 2.5	3.3	16.9
プラスチック製品工業	4.9	15.5	△ 0.4	△ 3.6	△ 8.0	△ 0.9	3.4	△ 1.9
パルプ・紙・紙加工品工業	△ 17.4	8.2	△ 4.2	1.6	△ 3.4	△ 2.7	△ 9.6	12.7
繊維工業	△ 2.3	△ 0.9	△ 3.8	△ 1.4	△ 5.6	0.7	3.9	△ 0.3
食料品工業	△ 3.4	△ 1.5	△ 3.6	△ 2.2	5.0	△ 5.8	△ 1.6	△ 1.1
その他の工業	1.6	1.1	1.2	6.2	4.0	1.1	1.9	6.2
鋳工業	14.2	5.4	1.9	△ 3.2	△ 7.8	5.5	△ 1.4	△ 2.2
非金属鋳工業	14.2	5.4	1.9	△ 3.2	△ 7.8	5.5	△ 1.4	△ 2.2
公益事業	55.7	13.2	52.7	6.2	△ 10.0	△ 0.4	2.3	△ 4.6
産業総合	5.3	6.4	2.7	△ 0.7	△ 2.5	0.6	△ 0.1	△ 2.9

表4 業種別鉱工業生産者製品在庫指数増減率

昭和60年=100

	対前年増減率(%)				3年四半期別・対前期増減率(%)			
	63年	元年	2年	3年	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
鉱工業	△ 4.7	11.7	7.4	5.6	△ 0.5	4.3	△ 0.3	1.4
製造工業	△ 4.7	11.7	7.4	5.7	△ 0.5	4.4	△ 0.2	1.2
鉄鋼業	△ 13.0	6.7	15.1	△ 13.0	△ 6.8	△ 0.7	0.0	9.1
非鉄金属工業	△ 7.8	△ 8.3	7.7	7.9	△ 2.8	9.5	29.1	△ 7.1
金属製品工業	△ 11.3	12.6	6.2	△ 3.2	△ 16.2	3.5	7.5	10.2
機械工業	△ 17.3	28.6	6.0	△ 17.1	△ 15.7	△ 5.9	△ 1.2	15.9
一般機械工業	△ 0.5	15.1	24.7	△ 17.3	△ 7.9	△ 8.7	△ 13.2	1.3
電気機械工業	△ 16.6	18.0	△ 18.8	△ 44.9	△ 13.7	9.2	△ 13.7	5.0
輸送機械工業	△ 41.2	77.6	5.0	6.9	△ 27.0	△ 14.3	33.8	41.7
窯業・土石製品工業	△ 4.8	0.4	12.6	10.0	2.7	△ 0.1	1.4	△ 4.8
化学工業	△ 0.1	16.8	4.0	18.2	5.5	12.0	1.6	△ 1.3
石油・石炭製品工業	7.0	0.4	7.8	△ 4.6	△ 5.6	△ 14.1	△ 11.3	18.4
プラスチック製品工業	△ 26.0	△ 4.1	1.9	26.9	8.7	17.7	3.0	10.3
パルプ・紙・紙加工品工業	△ 24.9	147.3	58.2	△ 7.3	17.9	5.3	△ 7.6	△ 16.9
繊維工業	3.1	6.1	1.2	1.8	1.6	2.3	△ 6.6	1.5
食料品工業	△ 5.1	△ 5.8	△ 4.7	16.8	10.2	10.1	3.0	△ 5.2
その他工業	△ 2.9	△ 2.5	15.3	20.4	3.2	20.0	△ 4.8	0.7
鉱業	△ 16.2	△ 16.0	30.3	5.9	7.2	△ 8.4	△ 1.3	8.2
非金属鉱業	△ 16.2	△ 16.0	30.3	5.9	7.2	△ 8.4	△ 1.3	8.2
公益事業	-	-	-	-	-	-	-	-
産業総合	△ 4.7	11.7	7.4	5.6	△ 0.5	4.3	△ 0.3	1.4